

東日本大震災における、医療派遣報告

重井医学研究所附属病院

小児科 柴野 貴之

はじめに：

当院における、東北関東大震災支援特別プロジェクト（NPO法人ジャパンハートJHと協力活動）において、H23年4月17日～4月23日まで派遣・活動してきましたのでご報告いたします。

活動場所は、小川小児科部長に引き継ぎ、同地点の宮城県石巻市の「渡波（わたのは）診療所」になりました。派遣前に情報は頂いていたので、必要な荷物・当院から提供して頂いた薬品など持参のうえ、出発となりました。

同診療所は4月2日に開院され、現在まで引き続き無料診療を行う形をとっています。

4月17日（日）

12時頃、新幹線で東京駅に到着、東京駅から京浜東北線で、秋葉原で下車し徒歩でJH東京事務所に。身分照会など行い、登録を済ませたあと、ボランティアのドライバーさん（車両もドライバーさん所有）の運転で、仙台事務所に夜到着、明日から始まる活動内容などミーティングに参加し、情報交換。事務所には当院を含め、いろいろな医療施設からの物品・薬品などが山積みになっている状態でした。学生ボランティア・JHスタッフが常駐されており、伝達はスムーズに行われる。23時頃より毛布1枚、寝袋で就寝。するも全く寝れず。緊張と不安、震度4程度の余震も数回ありました。



4月18日（月）

朝6時より渡波診療所に車で移動。3時間弱要し、到着。到着時より日本テレビの密着取材を受け、やや戸惑いながら参加開始。まず、リーダーにオリエンテーションを受け、前任の内科医小児科医より申し送りをうける。設備は、診察するには特に不自由がなく、ただ全て手作りが中心なので、苦勞されただろうなと頭が下がる思いでした。カルテ処方箋も手書きのフォーマットがあり、スムーズ。情報通り、花粉症、嘔吐下痢、高血圧などが多い。特別な重症は、幸いおられず、診察終了。夜間、チームでミーティング、余震時の緊急避難先の確認、自己紹介兼ねて情報交換。床にダンボール、毛布を引き、寝袋、カイロをつけ就寝、も厳しい寒さでした。

4月19日（火）

朝5時過ぎに起床、周辺の視察を兼ねて、散歩に参加。通り行く人にはかならず挨拶を行う。被災地の状況を実際に確認し、言葉がでない。8時過ぎより全員で掃除をし、診療所前の炊き出しを待っておられる方とラジオ体操を行う。9時より診療を開始。天候不良のためか、患者さんは前日の半数ほど。18時、石巻日赤でのミーティングに参加。感染症の全体把握、対応策、あらゆる種類の医療チームを的確にまとめておられた。夕食は、診察を受けられた方から、肉じゃが鍋の差し入れがあり、全員でありがたく頂く。



4月20日（水）

この日は昨日からの雨が夜間、雪に変わり、寒さが一層厳しい。朝の一通りの準備を終え、診療所で診察。患者さんは実に「暖かい」人柄の方が多く、診察させて頂いているスタッフの方も、同じ感想であった。診察後、日赤の会議に参加し、続けてNPO団体の会合（専修大学構内）にも参加。重機土木・リラクゼーション・医療などさまざまな団体が協力しての連絡会議。

4月21日（木）

雪は止み、時折晴れ間が見える。診察の形態にもだいぶ慣れてきた。再診の方も顔なじみの方が増えてきた気がする。支援物資（衣類系）が一般の方から直接持ち込まれ、診察後に希望者に配布を行う。一部報道に、支援物資は足りているとあるが、そうではなさそう。日中、JHスタッフが状況把握に来られ、報告する。余震も数回ではあるが続く。夜、宮城ローカルテレビで取材した放映がある。



4月22日（金）

午前中、診察を行い、引き継ぎ医師に申し送りを行う。被災地を後にするのが辛かった。スタッフの方々ともお別れの挨拶をし、車にて仙台事務所経由で22時過ぎに秋葉原に到着。そのまま一泊し、翌日帰岡。

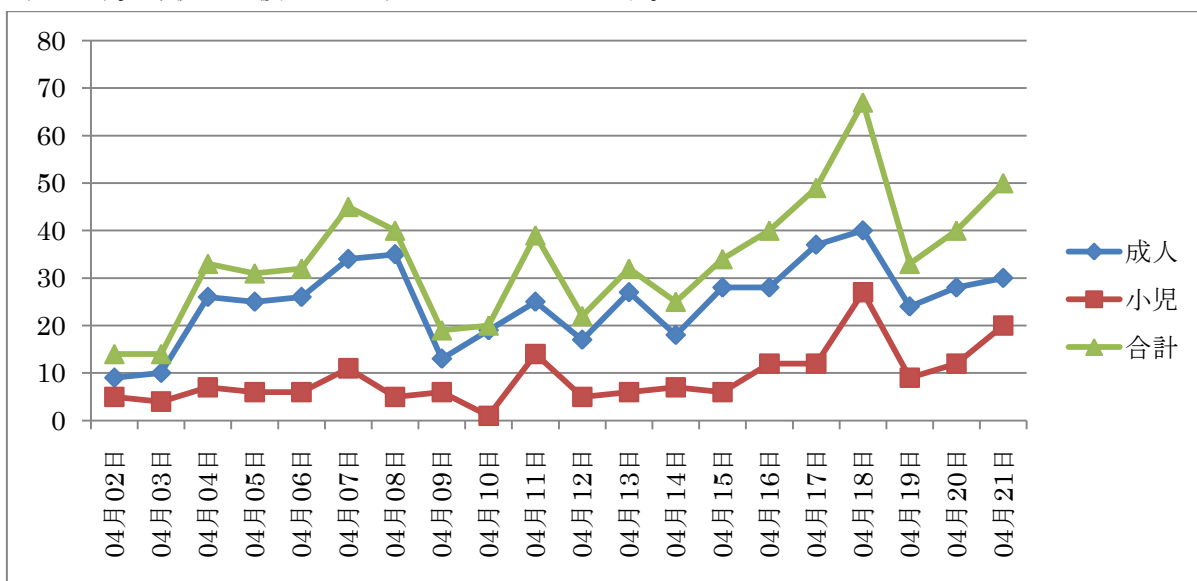
終わりに

渡波地区の小児科は、元来ゼロで、市内中心部まで行くと6軒あるようですが、現在2軒しか再開できていないそうです。元々医療過疎の地域での、津波による打撃は回り知れません。また、成人の診療体制も当然ながら十分足りているものではないと感じました。診療所付近は、連日のように腰のあたりまで冠水（海水）が定期的な起こり、道路は寸断され、余震の影響も続き、生活のパイプも保障されていません。まだまだ定期的で継続的な診療体制の補充が必要と思われます。震災より1カ月余り経ちますが、まだまだ炊き出しに並んでおられる方が、後を絶ちません。現実を肌で感じた気がします。言葉ではあまりに安易で、難しいのですが、1日でも早い、震災以前の生活が戻ればと勝手ながら、痛感いたします。

最後になりますが、今回、スタッフさんとは一期一会で、現地で精いっぱい生き、大変有意義な時間を過ごす事ができました。自分の人生にかけがえのない財産となりました。

このような機会を与えてくださった、理事長ならびに院長、小川先生、吉岡先生はじめ、たくさんの先生方、看護師さん、医療スタッフの方々に深く感謝いたします。

今回、診療開院(4/2~)から、患者さまの状況を診断名・人数でまとめさせて頂きました。(~4/21)。今後の支援のご参考になればと思います。



『診療所で診察を行った合計人数（成人・小児別、4/2~4/21）』

人数	小児(～15歳)延べ人数	人数	成人疾患別延べ人数
60	上気道炎	113	上気道炎
40	皮疹(オムツ皮膚炎、AD、突発、かび)	94	高血圧
30	花粉症	83	花粉症
23	胃腸炎	46	不眠・神経症
21	喘息	44	腰痛・膝関節痛・筋肉痛
13	熱傷	40	皮疹(ヘルペス含む)
9	外傷	32	胃腸炎
4	水痘・ムンプス	29	外傷、犬咬傷、熱傷
2	熱性けいれん	23	高脂血症
1	てんかん	14	便秘症
		13	糖尿病
		12	片頭痛
		9	緑内障、白内障
		6	骨粗鬆症
		6	痛風
		4	生理痛
		3	膀胱炎
		3	前立腺肥大
		2	狭心症
		2	肛門周囲炎
		2	甲状腺機能低下
		2	下肢静脈瘤
		1	盲腸疑い
		1	麦粒腫

『疾患別、成人小児別、人数 (4/2～4/21 延べ人数)』

合計	
499	成人
181	小児
680	合計

『診察人数合計 (4/2～4/21 延べ人数)』